整形外科学

［講義］　第２学年　前期　必修　2単位

《履修上の留意事項》1．遅刻をしないこと。
2．講義中は私語を慎むこと。
3．机の上には講義と関係のないものは一切おかないこと。
4．授業の順序や担当者に変更のある場合には事前に通知する。
5．数回分のプリントをまとめて配布する場合があるので、忘れずに持参すること。
6．非常勤講師による講義のため、週割とは異なる日時で開催することがあるので日割を確認すること。

《担当者名》○武田涼子　r-takeda@hoku-iryo-u.ac.jp、佐々木祐二、山根裕司、舘田健児（非常勤講師）、
神谷智昭（非常勤講師）、小林拓馬（非常勤講師）、宮川健（非常勤講師）、吉岡千佳（非常勤講師）、
山根慎太郎（非常勤講師）、松橋智弥（非常勤講師）、濵野博基（非常勤講師）

【概　要】
骨・関節・神経・筋組織などの運動器に発生する主な外傷と障害について、病態生理、臨床症状、理学所見、診断法、予後、保存・手術治療、さらにリハビリテーション医療への展開について、整形外科学的観点から学習する。これらを通じて、理学療法および作業療法を実践するうえで必要となる整形外科疾患の基礎知識と治療概念を学ぶ。

【学修目標】
一般目標：
リハビリテーションを行う上で不可欠な、整形外科疾患の病態および症状、診断、検査、治療に関する知識を身につける。
行動目標：
1．整形外科疾患の病態を説明できる。
2．整形外科疾患の症状・理学所見・診断方法を説明できる。
3．整形外科疾患の保存・手術治療を説明できる。
4．整形外科疾患のリハビリテーション治療を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	整形外科における診断方法と治療	・整形外科における診断の流れを学ぶ。 ・臨床所見・整形外科的スペシャルテスト・検査について学ぶ。 ・各種の治療（薬物療法、注射療法、外固定療法、装具療法、手術療法、運動療法）について学ぶ。	小林拓馬
2	外傷①	上下肢・体幹の骨折・脱臼・捻挫の概念・診断・合併障害・治療法について学ぶ。	小林拓馬
3	外傷②	上下肢・体幹の骨折・脱臼・捻挫の概念・診断・合併障害・治療法について学ぶ。	小林拓馬
4	脊髄損傷	脊髄損傷の概念・診断・合併障害・治療法について学ぶ。	宮川健 佐々木祐二 山根裕司
5	関節リウマチ 骨軟部腫瘍	慢性関節リウマチの病因と病態、臨床所見、診断と検査、内科的治療と手術について学ぶ。 骨肉腫をはじめとする骨軟部腫瘍の病因と疫学、診断、治療について学ぶ。	小林拓馬
6	骨代謝疾患 フレイルとロコモティブシンドローム	骨代謝の生理と骨代謝疾患の診断と評価について学ぶ。骨粗鬆症をはじめとする骨代謝疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ロコモティブシンドローム、フレイルの概要、診断、治療、予防について学ぶ。	小林拓馬
7	末梢神経・循環障害	代表的な四肢の末梢神経障害・循環障害の概念・診断・治療について学ぶ。 ・胸郭出口症候群 ・肘部管症候群 ・手根管症候群	吉岡千佳

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・末梢神経損傷 ・四肢循環障害 ・複合性局所疼痛症候群	
8	手関節の整形外科疾患	手関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・橈骨遠位端骨折 ・舟状骨骨折 ・腱損傷 ・上腕あるいは前腕切断 ・キーンベック病	濵野博基
9	肘関節の整形外科疾患	肘関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・上腕骨外側上顆炎 ・野球肘 ・変形性肘関節症 ・上腕骨内側上顆炎 ・肘内障	山根慎太郎
10	肩関節の整形外科疾患	肩関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・腱板断裂 ・肩関節脱臼 ・インピンジメント症候群 ・凍結肩 ・投球障害肩 ・変形性肩関節症	松橋智弥
11	脊椎の整形外科疾患	脊椎の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・頚椎症 ・後縦靭帯骨化症 ・脊柱管狭窄症 ・腰椎分離症 ・側弯症 ・椎間板ヘルニア ・化膿性脊椎炎 ・変形性脊椎症	宮川健 佐々木祐二 山根裕司
12	股関節の整形外科疾患	股関節の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・変形性股関節症 ・突発性大腿骨頭壊死症 ・大腿骨寛骨臼インピンジメント ・大腿骨頸部骨折 ・大腿骨頭すべり症 ・発育性股関節形成不全 ・単純性股関節炎 ・ペルテス病 ・梨状筋症候群	舘田健児 武田涼子
13	膝関節および下腿の整形外科疾患①	膝関節および下腿の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・離断性骨軟骨炎 ・半月板損傷 ・前十字靭帯損傷 ・後十字靭帯損傷 ・変形性膝関節症	神谷智昭
14	膝関節および下腿の整形外科疾患② スポーツ外傷と障害	膝関節および下腿の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 代表的なスポーツ外傷・障害の概念、診断、治療について学ぶ。 ・膝内側側副靭帯損傷 ・膝蓋大腿関節障害	神谷智昭 山根裕司

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・オスグット病 ・肉離れ ・腸脛靭帯炎 ・鵞足炎 ・疲労骨折 ・アキレス腱付着部症 ・足底腱膜炎	
15	足関節および足部の整形外科疾患	足関節および足部の代表的な整形外科疾患の概念、診断、治療について学ぶ。 ・外反母趾 ・外脛骨障害 ・変形性足関節症 ・扁平足 ・下肢閉塞性動脈硬化症 ・アキレス腱断裂 ・足関節靭帯損傷 ・先天性内反足 ・足根管症候群 ・骨端症（第1・2ケーラー病、セーバー病）	小林拓馬

【授業実施形態】
面接授業
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】
定期試験（筆記試験）　100％
定期試験および追再試験実施後、個別での問合わせに対しフィードバックを行う。

【教科書】
池田浩、高平尚伸　編集　「PT・OTの整形外科学」　文光堂　2022年

【参考書】
青木光広　編著　「からだの機能と運動療法　上肢・体幹」　メジカルビュー社　2013年
内山英一、青木光広　編集　「からだの機能と運動療法　下肢・骨盤」　メジカルビュー社　2014年
池添冬芽　編著　高齢者理学療法学　crosslink理学療法学テキスト　メジカルビュー社　2020年
鳥越精司　他　編集　「TEXT　整形外科学　改定第5版」　南山堂　2019年
大江隆史　監修　「ロコモティブシンドロームビジュアルテキスト」　学研メディカル秀潤社　2021年

【学修の準備】
1．講義に臨むにあたり、講義のテーマに関連する部位・関節の解剖学と運動学を復習する。また、講義内でどのような疾患を学ぶかをシラバスを読み確認する（80分）。
2．講義で学んだことをまとめノートを作成し復習する（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】
DP2．作業療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】
武田涼子（理学療法士）、佐々木祐二（理学療法士）、山根裕司（理学療法士）、舘田健児（医師）、神谷智昭（医師）、小林拓馬（医師）、宮川健（医師）、吉岡千佳（医師）、山根慎太郎（医師）、松橋智弥（医師）、濵野博基（医師）

【実務経験を活かした教育内容】
医師として医療機関での実務経験を活かし、症状から診断・治療に向かう流れや、実臨床における疾患の診かたや注意点について、診療に携わる際に役立つ講義を行う。
理学療法士として医療機関での実務経験を活かし、症状から診断・治療に向かう流れや、実臨床における疾患の診かたや注意点について、診療に携わる際に役立つ講義を行う。

【その他】
この科目は主要授業科目に設定している